

東京都しごとセンター指定管理者評価委員会 説明資料

令和3年7月21日(水)

公益財団法人東京しごと財団への特命理由

特命による選定施設とする理由

- 東京都しごとセンターは、都が設置する雇用就業に関するセーフティネット機能を有する唯一の施設であり、同センターで行われる事業は、雇用情勢が変動する中、都民ニーズに的確に対応するため、都との綿密な連携の下で実施される必要がある(政策との連動性及び管理運営の特殊性)
- 事業実施にあたっては、都の的確なコントロールの下、国、関係団体、民間等多様な事業主体と有機的に連携しつつ、効果的・効率的に事業を展開していく必要がある(政策との連動性及び管理運営の特殊性)
- 本施設の貸出し施設である「講堂」及び「セミナー室」については、しごとセンター事業での利用が最優先とされるなど、都の雇用就業施策に沿った効果的な事業実施が求められている(管理運営の特殊性)

公益財団法人東京しごと財団を特命する理由

- 雇用就業分野における唯一の都の監理団体として、長年にわたりサービスを提供してきた実績があり、都との綿密な連携の下での事業実施が期待できる
- 国や民間事業者、都の関係機関等と連携して事業展開を行った実績があり、ワンストップサービスの提供が期待できる
- 高齢者をはじめ、障害者や若者・中高年、女性の雇用・就業支援事業を実施するなど、雇用就業の促進に関する実績があり、そのノウハウ等の活用が期待できる
- 高年齢者雇用安定法第44条に基づき「シルバー人材センター連合」として指定された団体であり、傘下の区市町村シルバー人材センターとのネットワークをいかして、多様な働き方の提供に資する事業展開が期待できる
- 障害者の特性、能力等に応じた職業訓練や就業の促進を行ってきた実績があり、そのノウハウの活用等が期待できる
- 企業の人材確保支援も行っている団体であり、求人開拓などを通じて事業の相乗効果が期待できる

指定期間を10年とする理由

※平成27年4月導入「監理団体が管理する特に主要な政策と連動した重要な役割を果たす施設」となる理由

- 雇用就業施策は都の主要な政策であり、本施設はこれらの雇用就業施策の事業実施センターとして位置付けられている。このため、若者や高齢者、障害者の就業支援など、本施設で実施する事業は、長期ビジョンをはじめ、都の主要な計画に掲載されている
- 本施設は、しごとに関するワンストップサービスセンターとして、全年齢を対象にした多様な雇用就業施策を多数展開している。また、社会経済情勢や雇用情勢を踏まえた都の重点的な政策展開として、女性の再就職支援や非正規雇用対策など、特別な支援や対策を実施している

令和2年度 東京都しごとセンター事業 主な取組みと実績

1 ヤング：若年者就業支援（34歳以下）

- ◆ きめ細やかなカウンセリングに加え、セミナーや中小企業見学、中小企業とのマッチング機会等の就業支援を実施
 - 就職支援アドバイザーによる支援
 - 若者企業マッチング支援
 - ・ 合同企業説明会 [13回]、企業見学会 [52回]
 - ・ 業界職種研究ライブラリー
業界職種勉強会、中小企業PR冊子「TOKYO シャイン」[年4回発行] など
 - 高校生向け就業意識啓発講座（24校・99回）
 - 職場定着支援事業
 - ・ 社会人基礎力プログラム・キャリア形成プログラム [15回]
 - ・ 育成担当者向け・管理者向け 早期離職防止セミナー
 - ・ 早期離職防止ガイドブック [2,000部]

2 ミドル：中高年者就業支援（30～54歳）

- ◆ キャリアカウンセリング、対象者別セミナーやグループワーク等を実施
 - 就職支援アドバイザーによる支援
 - 早期就職支援事業「就活エクスプレス」（非正規向け特別支援）
 - ・ グループワーク [26回]、短期集中コース [15回]
 - ・ 合同面接会 [21回]
 - ミドルアフターのキャリアチェンジ支援
 - ・ キャリアチェンジセミナー[12回]
 - ・ 職種理解プログラム [10回]
 - ・ 合同企業説明会・職場体験プログラム [各6回]

3 シニア：高齢者就業支援（55歳以上）

- ◆ シニアの方を専門としたアドバイザーによる就業相談、高齢期の働き方の多様化に対応した就業支援と活躍機会拡大のための普及啓発を実施
 - 中小企業向け人材開発
 - ・ 人材開発コース [15コース]、体験会プログラム [5コース]
 - 中小企業向けエキスパート人材開発プログラム [3回]
 - 生涯現役社会推進事業 [66回]
 - シニアの社会参加サポートプログラム [4回]
 - 65歳以上の職場体験事業
 - 就業支援総合セミナー
 - ・ 定年退職後の働き方を考える [6回]、高齢期の働き方を考える [4回]

4 女性の再就職支援

- ◆ 再就職活動に必要なノウハウの提供や職場実習を組み合わせた総合的な支援を実施
 - 女性しごと応援テラスの運営
 - 女性再就職サポートプログラム
 - ・ 拠点型 [11回]、地域型 [7回]
 - 女性再就職支援セミナー等
 - ・ 再就職支援セミナー [19回]、子育て女性向けセミナー [8回]

5 しごとセンター多摩

- ◆ 全年齢層を対象とした基幹サービスの提供、企業団体や行政機関等と連携し地域に密着した事業を展開
 - 地域関係機関との連携事業
 - ・ 合同就職面接会 [4回]
 - ・ 地域就職面接会 [11回]
 - ・ 雇用就業対策検討会 [1回]
 - 多摩地域若者・中小企業交流支援事業
 - ・ 講師派遣 [81回]
 - ・ 中小企業交流会 [9回]

令和2年度 東京都しごとセンター事業利用者状況 (参考：元年度付)

区分	年度	利用者数			就職者数 ※2	
		新規利用	再来利用 ※1	計		
若年	2年度	5,577	34,737	40,314	3,282	
	元年度	7,402	50,965	58,367	5,419	
中高年	2年度	8,591	82,382	90,973	5,093	
	元年度	10,128	51,164	61,292	6,938	
高年齢者	2年度	7,051	37,586	44,637	1,920	
	元年度	9,244	46,512	55,756	2,851	
女性	2年度	※3 1,606	1,351	11,199	12,550	725
	元年度	※3 1,581	1,428	14,573	16,001	1,052
専門サポート	2年度	145	903	1,048	21	
	元年度	—	—	—	—	
小計	2年度	22,715	166,807	189,522	11,041	
	元年度	28,202	163,214	191,416	16,260	
総合相談	2年度	専門相談・事業所相談		4,338	—	
	元年度	専門相談・事業所相談		5,980	—	
	2年度	多様な働き方セミナー等		2,817	—	
	元年度	多様な働き方セミナー等		3,964	—	
合計	2年度	—		196,677	11,041	
	元年度	—		201,360	16,260	

※1 再来利用：延べ人員

※2 就職者数：前年度の利用者で今年度就職したものを含む

※3 年齢別コーナーの併用を含む「女性しごと応援テラス」の新規利用者

令和2年度 東京都しごとセンター 貸出施設利用状況

合計稼働率は49.5%であり、元年度（60.5%）と比較し、11.0%減少した。

[人数：人、稼働率：%]

月	稼働 コマ数	講堂				セミナー室				計			
		2年度			元年度	2年度			元年度	2年度			元年度
		コマ	人数	稼働率	稼働率	コマ	人数	稼働率	稼働率	コマ	人数	稼働率	稼働率
4	85	15	915	17.6	65.5	36	376	42.4	78.6	51	1,291	30.0	72.0
5	85	13	630	15.3	60.7	8	0	9.4	66.7	21	630	12.4	63.7
6	86	25	851	29.1	77.6	19	303	22.1	56.5	44	1,154	25.6	67.1
7	87	38	1,361	43.7	58.0	52	916	59.8	60.2	90	2,277	51.7	59.1
8	87	50	1,697	57.5	48.9	36	332	41.4	46.6	86	2,029	49.4	47.7
9	84	38	1,573	45.2	72.3	51	731	60.7	66.3	89	2,304	53.0	69.3
10	89	72	3,529	80.9	64.4	58	1,102	65.2	80.5	130	4,631	73.0	72.4
11	83	64	4,207	77.1	59.5	57	738	68.7	56.0	121	4,945	72.9	57.7
12	80	57	3,238	71.3	71.3	48	704	60.0	36.3	105	3,942	65.6	53.8
1	81	38	1,308	46.9	60.8	32	614	39.5	62.0	70	1,922	43.2	61.4
2	78	52	3,742	66.7	64.2	36	497	46.2	55.6	88	4,239	56.4	59.9
3	88	56	2,052	63.6	39.1	52	712	59.1	46.0	108	2,764	61.4	42.5
計	1,013	518	25,103	51.1	61.7	485	7,025	47.9	59.3	1,003	32,128	49.5	60.5

※ 稼働コマ数：平日・土曜は、午前、午後、夜間で3コマ、日曜は、午前、午後で2コマ（年末年始は閉館）

●参考 使用主体別内訳

	稼働可能数 (A)	財団使用 (B)		貸出可能コマ数 (C=A-B)		外部使用 (D)		
	コマ	コマ	構成比 (B/A)	コマ	構成比 (C/A)	コマ	稼働率1 (D/A)	稼働率2 (D/C)
2年度	2,026	689	34.0%	1,337	66.0%	314	15.5%	23.5%
元年度	2,020	718	35.5%	1,302	64.5%	504	25.0%	38.7%

令和2年度 東京都しごとセンター 貸出施設利用状況 増減理由書

※稼働率が昨年度より10%程度増減がある月について、ご記入ください

月	稼働率			増減理由
	2年度	元年度	増減	
4	30.0%	72.0%	-42.0%	令和2年4月7日から5月6日まで発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」により、この間の施設の貸出を中止したため。
5	12.4%	63.7%	-51.3%	令和2年4月7日から5月6日まで発出された「緊急事態宣言」が5月31日まで延長（その後25日に解除）となり、この間は引き続き施設の貸出を中止したため。
6	25.6%	67.1%	-41.5%	「緊急事態宣言」が5月25日をもって解除となり、26日以降について予約受付を再開したが、利用団体はある程度計画的に利用しているため、直ぐには予約が入らず、また、感染症予防対策として収容定員を制限するなどしたことも稼働率の低下につながった。
7	51.7%	59.1%	-7.4%	
8	49.4%	47.7%	1.7%	
9	53.0%	69.3%	-16.3%	7月下旬から8月にかけて新型コロナウイルス感染症の第二波と呼ばれる感染拡大が起こった影響で、利用を自粛する団体があったことなどにより、特に講堂（60→38）の利用コマ数が減少した。
10	73.0%	72.4%	0.6%	
11	72.9%	57.7%	15.2%	上半期に実施予定であったしごとセンター及び財団各課のセミナーやイベントが、「緊急事態宣言」の影響で後ろ倒しとなり、10月から12月にかけて実施したため、特に内部利用が集中（59→72）し、稼働率が上昇した。
12	65.6%	53.8%	11.8%	上半期に実施予定であったしごとセンター及び財団各課のセミナーやイベントが、「緊急事態宣言」の影響で後ろ倒しとなり、10月から12月にかけて実施したため、特に内部利用が集中（42→72）し、稼働率が上昇した。
1	43.2%	61.4%	-18.2%	令和3年1月8日から2月7日まで発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」により、利用を自粛する団体があったことや、貸出施設の利用時間の短縮（通常時21時30分→20時）を行ったため、夜間の貸出が減少したことなどによる。
2	56.4%	59.9%	-3.5%	
3	61.4%	42.5%	18.9%	1月8日に発出された「緊急事態宣言」が3月21日まで延長となったが、貸出施設の利用時間の短縮を緩和（20時まで→21時まで）したことや、昨年3月は新型コロナの影響により、団体が自粛するなどして利用が大幅に減少していたため、前年度と比較すると稼働率は上昇した。

令和2年度 東京都しごとセンター 貸出施設料金収入

令和2年度の料金収入は、合計2,491,750円であり、元年度（3,817,500円）と比較し、1,325,750円減少した。

[単位：回、円]

月	講 堂		セミナー室			附帯設備			計			
	回数		金額	回数		金額	回数		金額	回数		金額
	正規	減額		正規	減額		正規	減額		正規	減額	
4	2	2	31,800	0	36	105,800	0	0	0	2	38	137,600
5	3	9	86,250	1	0	6,500	3	0	15,900	7	9	108,650
6	4	2	59,000	8	7	71,550	6	1	16,250	18	10	146,800
7	8	4	116,500	10	17	113,050	7	5	37,350	25	26	266,900
8	7	6	112,000	6	10	69,100	6	3	34,550	19	19	215,650
9	5	25	195,250	2	41	132,650	5	3	29,250	12	69	357,150
10	5	34	242,200	8	9	76,450	3	6	16,200	16	49	334,850
11	4	19	152,850	7	13	84,550	5	2	26,600	16	34	264,000
12	9	2	112,000	5	8	53,700	2	2	10,700	16	12	176,400
1	2	12	86,300	2	19	67,550	1	5	15,950	5	36	169,800
2	6	2	78,700	5	3	37,350	4	3	26,550	15	8	142,600
3	3	8	78,600	10	8	81,900	3	3	10,850	16	19	171,350
計	58	125	1,351,450	64	171	900,150	45	33	240,150	167	329	2,491,750
元年度			1,996,300	—		1,367,200	—		454,000	—		3,817,500

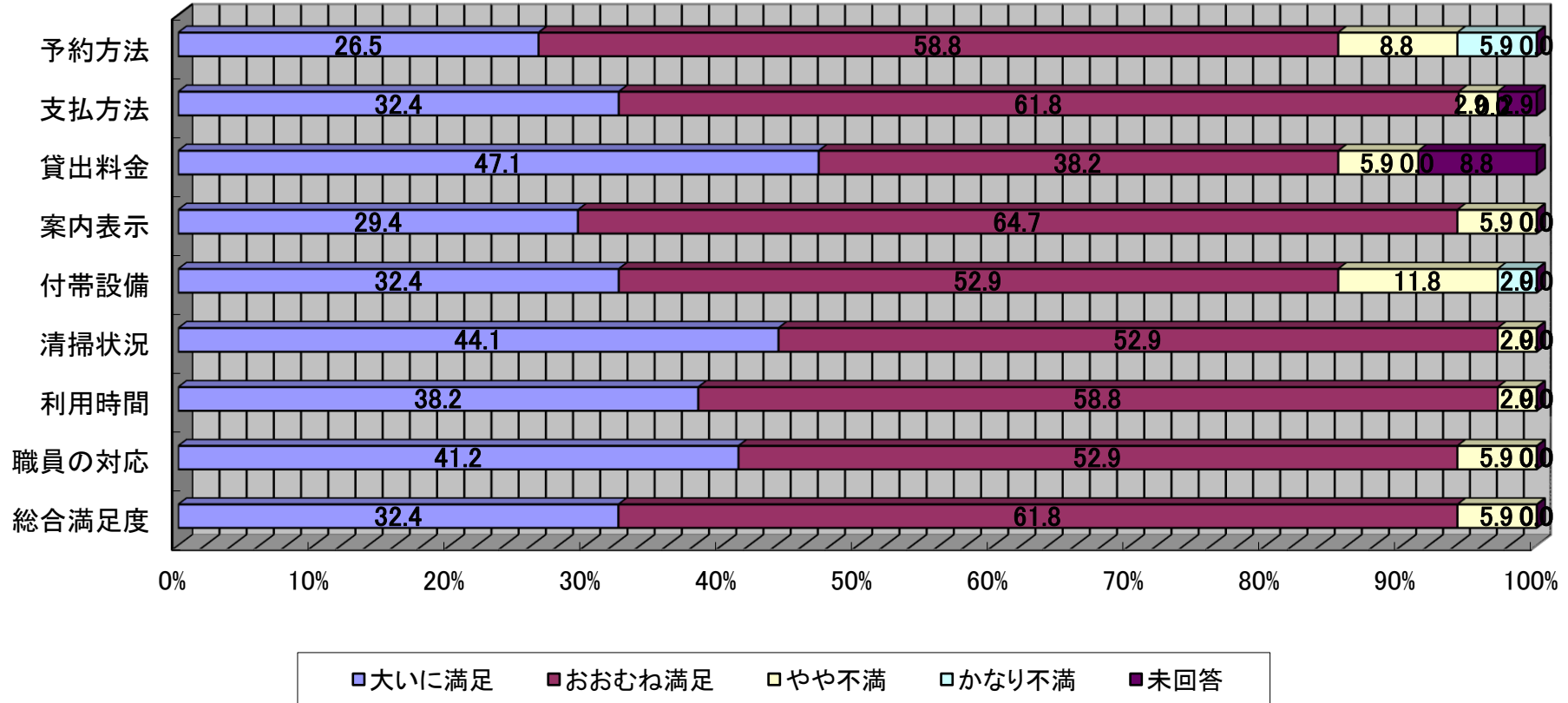
令和2年度 東京都しごとセンター 貸出施設料金収入 増減理由書

※月ごとに、20%程度の増減がある場合は、ご記入ください

月	料金収入			増減理由
	2年度	元年度	増減率	
4	137,600	344,500	-60.1%	令和2年4月7日から5月6日まで発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」により、この間の施設の外部貸出を中止したため。
5	108,650	351,300	-69.1%	令和2年4月7日から5月6日まで発出された「緊急事態宣言」が5月31日まで延長(その後25日に解除)となり、この間は引き続き施設の外部貸出を中止したため。
6	146,800	190,800	-23.1%	「緊急事態宣言」が5月25日をもって解除となり、26日以降について予約受付を再開したが、利用団体はある程度計画的に利用しているため、直ぐには予約が入らず、また、感染症予防対策として収容定員を制限するなどしたことなどにより、稼働率が低下したため。
7	266,900	386,750	-31.0%	全体の稼働率は7.4%の減であったが、財団や入居機関が講堂で実施する大規模なセミナー等の中止により、講堂の使用が昨年と比較して減少したことなどによる。
8	215,650	436,600	-50.6%	7月下旬から8月にかけて新型コロナウイルス感染症の第二波と呼ばれる感染拡大が起こった影響で、利用を自粛する団体があったことなどにより、講堂及びセミナー室の外部利用が昨年度と比較して減少したことなどによる。
9	357,150	436,800	-18.2%	7月下旬から8月にかけて新型コロナウイルス感染症の第二波と呼ばれる感染拡大が起こった影響で、利用を自粛する団体があったことなどにより、特に講堂の利用が減少したことなどによる。
10	334,850	440,150	-23.9%	上半期に実施予定だったしごとセンター及び財団各課のセミナーやイベントが、「緊急事態宣言」の影響で後ろ倒しとなり、10月から12月にかけて実施した影響もあり、外部利用が減少し、使用料も減少した。
11	264,000	213,150	23.9%	上半期に実施予定だったしごとセンター及び財団各課のセミナーやイベントが、「緊急事態宣言」の影響で後ろ倒しとなり、10月から12月にかけて実施したため、稼働率が大幅に上昇し、使用料も増加した。
12	176,400	283,150	-37.7%	上半期に実施予定だったしごとセンター及び財団各課のセミナーやイベントが、「緊急事態宣言」の影響で後ろ倒しとなり、10月から12月にかけて実施した影響や、11月中旬から12月にかけて新型コロナの第三波と呼ばれる感染拡大が起こり、講堂及びセミナー室の外部利用が減少したことなどによる。
1	169,800	433,500	-60.8%	令和3年1月8日から2月7日まで発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」により、利用を自粛する団体があったことや、貸出施設の利用時間の短縮(通常時21時30分→20時)を行ったため、夜間の貸出が減少したことなどによる。
2	142,600	230,100	-38.0%	1月8日に発出された「緊急事態宣言」が3月21日まで延長となり、引き続き団体が利用を自粛したことや、貸出施設の利用時間の短縮(通常時21時30分→20時)を行ったため、夜間の貸出が減少したことなどによる。
3	171,350	70,700	142.4%	1月8日に発出された「緊急事態宣言」が3月21日まで延長となったが、貸出施設の利用時間の短縮を緩和(20時まで→21時まで)したことや、昨年3月は新型コロナの影響により、団体が自粛するなどして利用が大幅に減少していたことなどにより、前年度と比較すると稼働率が上昇したため。
	2,491,750	3,817,500	-34.7%	

令和2年 貸会議室利用者アンケート

令和3年2月実施



★対象団体数

発送※	回収	未到達	未回収	回収率
52	34	0	18	65.4%

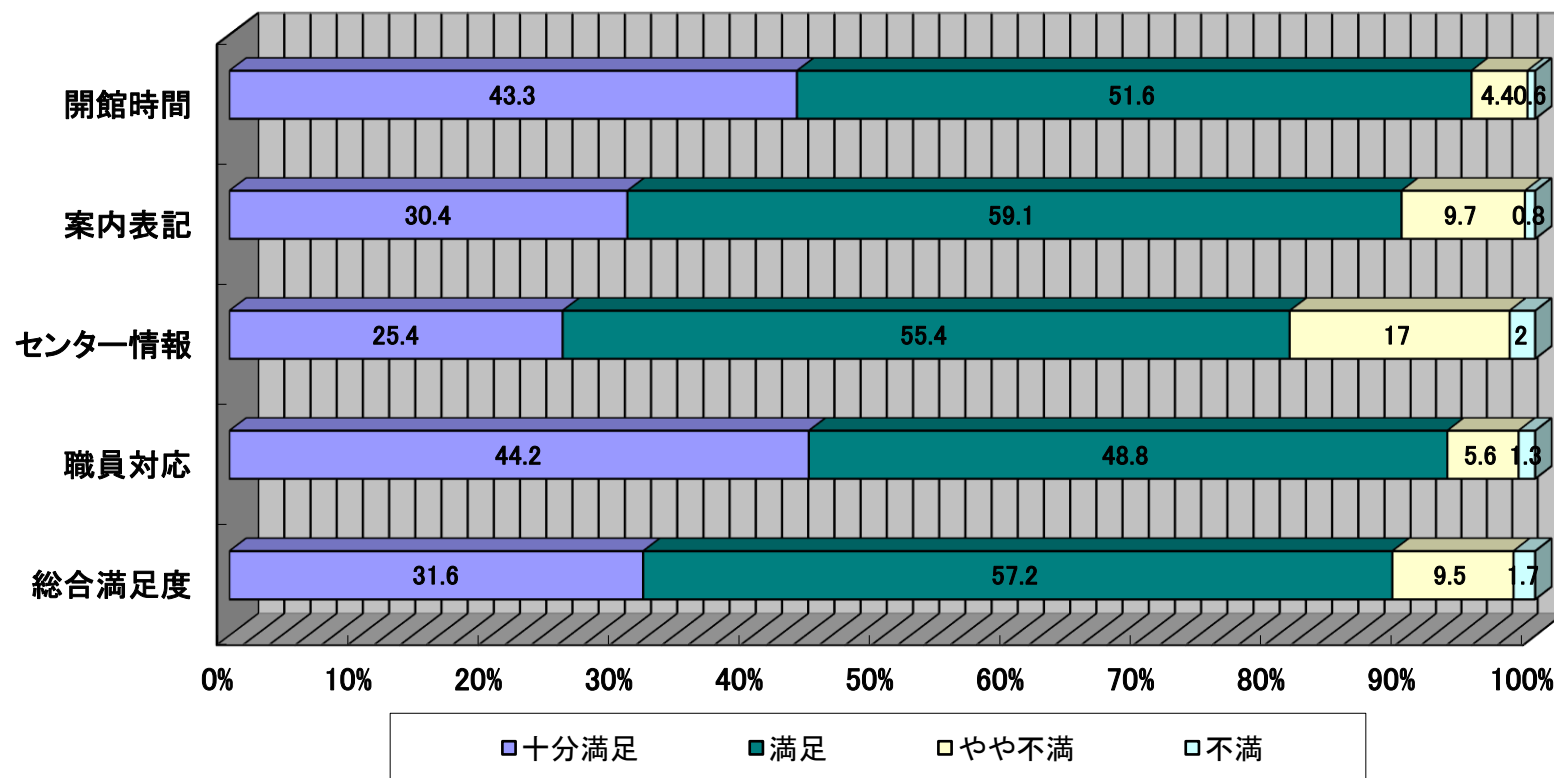
※貸会議室登録団体のうち、平成31年1月から令和元年12月までに1回以上利用実績がある団体

★属性

会社	会社以外の法人	法人以外の団体	公共団体	その他	未回答	計
0	4	13	8	4	5	34

令和2年度 しごとセンター利用者アンケート

令和2年12月～令和3年1月実施



★対象者数

発送※	回収	回収率
5,700	2,594	45.5%

※東京しごとセンターおよび東京しごとセンター多摩の新規利用者から無作為に抽出

★属性

	若年者	中高年	高齢者	女性	計
(回収率)	391 26.2%	901 43.8%	1,138 61.0%	164 56.6%	2,594 45.5%

(公財)東京しごと財団 過去5年の決算概要

(単位：百万円)

名 称	公益財団法人 東京しごと財団	代表者	理事長 小沼 博靖	所 管	産業労働局
基本財産	495百万円	都出資等比率	51%	設立年月日	1975/10/25

		主要指標(平成28年度～令和2年度)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財務状況	正味財産増減計算書	当期経常増減額	-7	-5	-3	-1	-11
		経常収益	4,309	5,729	6,492	6,895	9,237
		経常費用	4,316	5,734	6,495	6,896	9,248
		当期経常外増減額	0	0	0	0	0
		経常外収益	0	0	0	0	0
		経常外費用	0	0	0	0	0
		法人税等	3	3	4	3	2
		当期一般正味財産増減額	-11	-8	-7	-4	-13
		当期指定正味財産増減額	-2	0	-1	14	-15
	正味財産期末残高	558	550	542	551	523	
	貸借対照表	資産合計	4,636	5,470	6,615	11,101	30,086
		流動資産	3,881	4,673	5,740	10,196	29,016
		固定資産	755	797	875	905	1,070
		基本財産	495	495	495	495	495
		負債合計	4,078	4,920	6,073	10,550	29,563
流動負債		3,877	4,675	5,734	10,176	29,139	
固定負債		201	245	339	374	424	
正味財産合計		558	550	542	552	523	
指定正味財産		498	498	497	511	495	
一般正味財産	60	52	45	41	28		
(参考)	収支計算書	収入合計	8,217	9,312	11,302	14,717	84,796
	支出合計	8,217	9,294	11,355	14,695	87,374	
	当期収支差額	-1	-18	-53	22	-2,578	

令和 2 年度

東京都しごとセンター指定管理者
一次評価書

東京都産業労働局雇用就業部

大項目	中項目	確認項目						評価					
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R2)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか											
		1	施設・設備に関する保守点検及び書類の管理等	設備保守点検(電気・空調・消防・建設・下水設備等) 性能検査(ストレージタンク等) 各種測定(煤煙排出物等)等 業務報告書の管理	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	100%	◎	×1		○	
		2	施設の清掃	日常清掃 定期清掃(フローリング・ワックスがけ・ガラス等) 特別清掃(照明器具・モニュメント等)等	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)清掃業務仕様書	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	100%	◎	×1		○	
		3	人員配置	相談員(就職支援アドバイザー等)等の配置	総合相談:6ブース ヤング:19ポスト ミドル:20ポスト 就職氷河期:4ポスト 正規雇用離職者早期再就職支援:8ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 多摩ランチ:2ポスト	年度協定	総合相談:6ブース ヤング:19ポスト ミドル:20ポスト 就職氷河期:4ポスト 正規雇用離職者早期再就職支援:8ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 多摩ランチ:2ポスト	100%	◎	×1		○	
		4	人材育成の取組	職層別研修 課題研修 実務研修	3回/年以上 4回/年以上 2回/年以上		職層別研修 8回 (新任・転入職員研修、新任職員フォローアップ研修、若手職員対象社会経済事情研修、採用3～5年目対象事業企画(改善)提案研修 他) 課題研修 2回 (情報セキュリティ・個人情報保護研修、メンタルヘルス研修) 実務研修 2回 (普通救命講習、キャリア・カウンセラー養成研修) ※財団において主催したもののみ	266% 100% 100%	◎	×1	○		
	【特記事項】 ○「4 人材育成の取組」について、コロナ禍により大規模な集合研修の開催を自粛したため、研修の実施は計画数を下回った。 課題研修の実施回数は、4回/年以上の計画を下回る2回であるが、e-ラーニングにより全職員が受講したため、達成率は100%とする。												
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか											
		5	防災・防犯への配慮	消防設備保守点検等 避難訓練 施設内巡回点検	3回/年 1回/年 8回/日(月～土) 4回/日(日・祝日)	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)設備管理・保守業務仕様書 指定管理者募集要項別紙II 4(3)	消防設備保守点検等:3回 避難訓練:1回(従来の訓練内容、避難経路、自衛消防隊の役割を全職員及び入居機関へ周知。また、しごとセンタービルに初めて勤務した職員を対象に避難階段を実際に使用した訓練を実施。) 一時滞在施設開設・運営訓練:1回(参加:千代田区及び富士見・飯田橋駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会) ※新型コロナウイルス感染防止のため、帰宅困難者受入訓練を中止し、情報通信訓練及び一時滞在施設開設訓練のみ実施 施設内巡回:9回/日(月～土) 4回/日(日・祝日)	100% 100% 113% 100%	◎	×1	○		
		6	緊急時対策	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備		緊急時連絡体制の整備 BCPの一部改訂 各階の避難経路がわかるように、各階事務室教室に、避難経路図の掲示(継続)	-	◎	×1		○	
	【特記事項】 ○千代田区、富士見・飯田橋駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会が主催する一時滞在施設対応訓練への参加、防災センター受託事業者との連携による帰宅困難者受け入れ時の動作確認等、公的施設としての責任を認識し、災害発生時の安全確保に積極的に取り組んでいる。 ○適切な消防点検、警備巡回などにより、事件・事故防止に努めている。												
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか											
7		個人情報保護の取組	個人情報保護管理責任者の設置 情報セキュリティ研修の実施 データアクセスのID制御の実施 個人情報保管場所の施錠	規定に基づく設置 研修:1回/年 ID制御の実施 施錠	基本協定	「個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護基本方針」に基づき、個人情報保護管理責任者及び個人情報取扱責任者を設置 情報セキュリティ・個人情報保護研修 1回 ID制御及び施錠の実施	100%	◎	×2		○		
8		情報公開の取組	情報公開(主要事業指標、財務指標)の実施	事業報告:1回/年 財務指標:1回/年	「監理団体の経営の透明性の向上について」18総行革監第33号	事業報告の公開:1回 財務指標の公開:1回	100%	◎	×1		○		
9		環境配慮への取組	資源リサイクルの実施 省エネルギー対策の実施	ゴミ分別の徹底 電力使用量削減の取組		ゴミ分別の徹底 送風設備、空調機器の細かい運転調整、LED照明の導入等 ※電気使用量の平成22年度比(震災発生前年) 23%減	-	◎ ○	×1		○		
10		各種法令等の遵守	研修の実施(汚職防止・人権・情報管理等) 委託事業者への法令順守の取組	3回/年 実施		1回(情報セキュリティ・個人情報保護) 委託事業者への法令順守の取組(日常指導)	100%	◎	×1		○		
11		都への報告・連絡	実績報告書の提出 事業報告書の提出	1回/月 1回/四半期	基本協定書第17条	実績報告書の提出:1回/月 事業報告書の提出:1回/四半期	100%	◎	×1		○		
【特記事項】 ○「7 個人情報保護の取組」について、コンプライアンス推進月間に合わせ、「情報管理に係る事故防止週間」を設定し、個人情報及び重要情報を含む文書の外部への発出に関する意識強化を図った。 ○「10 各種法令等の遵守」について、コロナ禍により大規模な集合研修の開催を自粛したため、研修の実施は計画数を下回った。 研修の実施回数は、3回/年の計画を下回る1回であるが、e-ラーニングにより全職員が受講したため、達成率は100%とする。													
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか												
	12	収支状況	収入計画(利用料金) 支出計画	4,060千円 3,529,148千円	予算関係資料(都)歳入内訳 カック外合算 年間事業計画書	2,491千円 3,210,385千円	61% 91%	◎	×1		○		
	13	適正な会計処理	会計監査人による監査の実施 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施	1回/年 帳簿整備 1回/年	しごと財団財務規定 第58条	会計監査人による監査の実施 1回 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施 1回	100%	◎	×1		○		
	14	都有財産の管理	台帳の整備・更新(備品・物品・電気子メーター・水道子メーター等)	各台帳の整備・更新	施設整備及び物品 管理業務実施要領	台帳の整備	-	◎	×1		○		
【特記事項】 ○「12 収支状況」の収入計画(利用料金)について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年4月7日～5月25日まで貸出施設の利用を中止、令和3年1月8日から3月31日まで利用時間の短縮を行ったことなどにより利用料金の収入が減少したが、日々の利用料の徴収だけでなく、利用中止等による利用料の減額処理を含めて適切に歳入管理を行ったことを評価する。													

大項目	中項目	確認項目						評価					
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R2)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか												
	15-1	若年者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙1のとおり		◎	×2	○			
	15-2	中高年の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙2のとおり		◎	×2	○			
	15-3	高齢者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙3のとおり		◎	×2	○			
	15-4	総合相談における支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙4のとおり		◎	×2	○			
	15-5	女性の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙5のとおり		◎	×2	○			
	15-6	しごとセンターの多摩地域展開の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙6のとおり		◎	×2	○			
	15-7	しごとセンターの管理運営に関する事業の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙7のとおり		◎	×1	○			
	16	利用者の平等利用への取組(公平な利用者選定)	協定、実施要領等の遵守	協定、実施要領等の遵守	東京都しごとセンター提供施設等貸出要領	協定、実施要領等の遵守	-	○	×1	○			
	17	サービス向上に向けた取組	・関係機関情報コーナーの設置 ・休憩コーナーの設置 ・サイン表示の充実等 ・出張カウンセリング・出張セミナー ・顧客満足度調査、利用者の声コーナー等の設置等	左記と同じ	(選定時)事業計画書5(2)	・関係機関情報コーナーの設置(1階エントランス周辺のポスター等掲示、総合相談内の生活支援情報コーナーと多様な働き方情報コーナーの設置) ・休憩コーナー(5階)の設置 ・サイン表示の充実(1階ディスプレイでの案内表示、2・3階カーペット等)等 ・出張カウンセリング・出張セミナー(ヤング122回)実施 ・顧客満足度調査の実施 ・ご利用者ご意見箱の設置及び対応の公表 ・コロナ対策として、以下の取組を実施 ①しごとセンター1階入口での来場者に対する検温およびアルコール消毒 ②各階のトイレにポンプ式ハンドソープを設置 ③セミナー等の定員や情報コーナーのパソコン設置台数の縮小によるソーシャルディスタンスの確保 ④相談コーナーでの相談終了後の、ブースやファイル、パソコン機器等の消毒	-	◎ ○	×2	○			
	18	利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)	貸出施設稼働率	61.9%	過去3か年の平均	49.5%〔補正換算〕59.4%	96%	◎	×1	○			
	19	利用促進への取組(広報、PR等)	メールマガジン・ホームページの更新、広報・PR活動等	・メールマガジン:1回/月 ・ホームページの更新:随時 ・広報、PR活動の実施	(選定時)事業計画書5(3)	・オンラインサービス(カウンセリング、セミナー、企業説明会等)の特設サイトを開設 ・YouTubeによる動画広告の提供 ・年齢層に応じた広報(リスティング広告、電車広告、新聞の記事広告など)の展開 ・メールマガジンの配信(ヤング1回程度/日) ・各ホームページの更新:随時 ・ターゲットを絞ったPR活動の実施(チラシ配布先や周知媒体の工夫等) ・公共媒体(広報東京都、とうきょうの労働等)、マスコミ活用(新聞・雑誌・テレビ等)、電車内広告、新聞折込チラシによる計画的・継続的な広報の実施 ・若年者対象の派遣カウンセリング・出張セミナーの実施 ・チラシの継続的配架によるPR ・職員の広報意識向上の取組(広報事例集の作成等) ・SNSを活用した広報	-	○	×2	○			
	【特記事項】 ○「17 サービス向上に向けた取組」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態措置等が発出されている中で、コロナの感染防止対策をとりながらしごとセンターの相談業務を継続して運営し、緊急事態措置等の解除後も通年を通して、常に感染防止対策を行い、公的施設として利用者が安心して利用できるように取り組んでことを評価する。 ○「18 利用者数」貸出施設稼働率について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月7日～5月25日まで貸出施設の利用を中止としたため、実績数値を12カ月に補正換算して達成率を算定する。 ○「19 利用促進への取組(広報、PR等)」について、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者のニーズにいち早く対応してオンラインサービスを開始し、特設サイトを開設したことを評価する。												
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。											
		20	利用者ニーズ把握	貸会議室利用者アンケート満足度 東京しごとセンター利用者アンケート	貸会議室利用者アンケート満足度 97.4%以上 東京しごとセンター利用者アンケート満足度 88.8%以上	過去3か年の平均	貸会議室利用者アンケート満足度 2年度 94.2% 東京しごとセンター利用者アンケート満足度 2年度 88.8%	96.7% 100%	◎	×2	○		
		21	苦情等への対応	事例検討会の実施	1回/月		事例検討会の実施1回/月	100%	◎	×1	○		
	【特記事項】 ○貸会議室利用者アンケートでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により貸出中止や利用時間の短縮をしたことで、利用時間の満足度に影響が出たが、職員の対応は94.1%、清掃状況は97%と満足度が高くなっており、日々の取組姿勢が恒常的に高いことが伺える。 ○利用者から寄せられた意見や苦情について、適切に対応することで満足度向上につなげた。												
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。											
		22	都の政策との連動に向けた取組	都との連携(しごとセンター運営会議等) 区市町村との連携(市町村事例検討会・区市町村会議) センター内での連携(入居機関会議)等	・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:2回/年 ・区市町村会議:1回/年 ・入居機関会議:2回/年		・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:第1回はコロナで中止、第2回はオンラインで開催 ・区市町村会議:コロナで中止 ・入居機関会議:2回(2回とも書面開催) ・都と連携し、緊急対策として、令和2年6月からオンラインでの相談受付やセミナー等を行う「オンライン就職支援事業」を実施した。また、令和2年11月からキャリアカウンセリングや就職セミナー・業界研究、就職面接会等を集中的に1日で実施する「就職1day(ワンデー)トライ」を開催した。	100%	◎	×1	○		
23		都の施策への協力	都の施策と連携した対応	随時		一時滞在施設の指定に伴う都からの委託による備蓄物資の管理	-	◎	×2	○			
【特記事項】 ○「22 都の政策との連動に向けた取組」について、コロナ禍における緊急雇用対策として、補正予算を組んでいち早く事業を開始し、都の政策に連動して取組を行ったことを評価する。 また、市町村等事例検討会及び区市町村会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響によりを中止したことから達成率を100%に補正換算して評価する。 ○大規模災害発生時に一時滞在施設として避難者を受け入れる際に使用する都の水・食料等の備蓄物資を管理している。													

【補正換算について】(評価の特例)

各項目の評価のうち、水準を下回る評価(達成率90%以下)の項目については、コロナ禍による影響を考慮し、下記により補正換算をした実績と達成率にて評価する。

①実績数値[回数]: 中止した回数を計上した値を実績として達成率を算定[ブルー]

- ・令和2年4月7日～5月25日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等に、貸出施設は休館、イベント・セミナー等は中止した事業
- ・緊急事態措置等の解除後も、イベント・セミナー等を中止した事業

②実績数値[人数]: 中止した人数及び実績人数を2倍に計上した値を実績として達成率を算定[ピンク]

令和2年4月7日～5月25日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等に、貸出施設は休館、イベント・セミナー等は中止もしくは延期の取扱いとし、緊急事態措置等の解除後も、定員を1/2に減らして実施した事業

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
若年者の雇用就業支援										
若年者の雇用就業支援事業										
様々な職業情報の提供										
情報コーナーの設置		職業適性診断システムの導入、 閲覧用図書及び求人情報誌等の整備・充実等	実施	100%				○		
就職スキルアップ支援										
就職支援アドバイザー	19ポスト	求職者への個別就職指導(カウンセリング、導入相談等)、 グループカウンセリングによる就職指導、 各種セミナー等の企画、調整、実施、 ハローワーク等連携機関との連絡、調整 若者しごとホットラインの実施等	19ポスト	100%				○		
出張型支援	120回	公的機関を活用することに対して消極的な層や無 関心な層、就職活動に自信を喪失している層に向 けて、しごとセンターのサービスを出張型で提供す る。併せて新規登録を促し、来所を誘導する。	122回	122%				○		
能力開発コース	50人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格 取得等のための支援講座等を開催	55人	110%				○		
若年者就職力アップ事業	80人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コ ミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上さ せるためのプログラムを提供	72人	90%					○	
若年者早期就職支援事業	120人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグル ープワークと個別カウンセリングの組み合わせ 及びU-35と連携したメニューを提供	64人	53%	158人	132%	○			①10人×12回=120人規模のど ころ3回中止 →10人×3回=30人を計上 ②定員1/2で9回実施 →64人×2倍=128人を計上 7月～3月に毎月1回、コロナ対 策をとりながら就職準備度の低 い若年者に対してグルー プワークを実施したことを評価す る
若者と企業マッチング支援										
若年者合同面接会	4回	若年者を対象とした合同面接会を開催	2回	50%	4回	100%	○			2回中止
合同企業説明会	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	大企業指向等によるミスマッチ解消のため、若年者 の採用に意欲的な中小企業と若年者が交流できる 合同企業説明会を実施	若年者向け合同企業説明会 9回 新卒向け合同企業説明会 4回	90% 67%	10回 6回	100%	○			若年者向け1回中止 新卒者向け2回中止
中小企業見学	50回	中小企業の理解を促すため、企業に赴いて、中小 企業の現場を体験できる見学会を実施	52回	104%				○		緊急事態措置等の期間に予定 していた34回の見学会を中止 したが、計画を上回る52回実施 したことから、水準を上回ると評 価する
合同企業説明会直前対策セミナー	10回	合同企業説明会を効果的に活用し、応募の促進に つなげるための、直前対策セミナーを実施する。	9回	90%	10回	100%	○			1回中止
面接対策セミナー	13回	面接会等を通じた就職決定を支援するため、就職 面接会の上手な活用方法と、模擬面接をセットにし たセミナーを実施する。	14回	108%				○		緊急事態措置等の期間に面接 会等を中止したため、7月から セミナーを開始したが、計画を 上回る14回実施したことから、 水準を上回ると評価する
業界職種研究ライブラリーの設置	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1000社 業界職種勉強会 24回 登録企業PR冊子の作成 4回	都内中小企業等の事業内容や自社PR等の公開及 びアドバイザーを通じた求職者への情報提供 セミナーと企業訪問をセットにした業界職種勉強会 の実施 企業PR記事等を掲載した冊子の作成	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 907社 業界職種勉強会 20回 登録企業PR冊子の作成 4回	91% 83% 100%	907社 24回 4回	91% 100% 100%	○			業界職種勉強会4回中止
採用・育成サポートセミナー	12回	合同企業説明会等を通じた採用ノウハウを伝達す るセミナーを実施する。また、早期離職防止のた め、人材育成に力を入れている企業の社長等を講 師に迎えセミナーを実施する。	12回	100%				○		
採用・育成に関する好事例の提供	40回	若年者の採用や人材育成に関する企業の好事例 を取材し、ライブラリー登録企業に対してメールマ ガジン配信する。	40回	100%				○		
若年者の職場定着支援事業										
社会人基礎力プログラム	基礎編 3回 応用編 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社 3年以内の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援 するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回	100%				○		
キャリア形成プログラム	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社 3年以内の者に対し、キャリア形成等を支援するメニュー を実施	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	100%				○		
参加者交流会	3回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグル ープワーク等、交流会を実施	3回	100%				○		
育成担当者向け早期離職防止セミナー	2回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するた めの人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%				○		
管理者向け早期離職防止セミナー	2回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノ ウハウ等を提供	2回	100%				○		
早期離職防止ガイドブック	2,000部	早期離職防止のノウハウ等をまとめたガイドブック を作成し配布	2,000部	100%				○		
就活バックアップ事業	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 1回 保護者向け中小企業見学 2回	新卒者等の就職活動の間接的支援を促進するた め、大学等就職支援者及び新卒者等の保護者を 対象とした事業を実施	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 2回 保護者向け中小企業見学 2回	114%				○		
高校生向け就業意識啓発講座	20校	都内高校に講師を派遣して、高校生の就業意識を 醸成する内容の啓発講座を、学校の要望に沿った 形で実施	24校	120%				○		高校側の希望が多く校数を増 やして対応
就活アプローチ事業	プログラム 4回 セミナー 2回	就職活動に踏み出せない若年者に対し、専門的な ノウハウを有する専門機関を活用し、支援メニュー を実施	プログラム 3回 セミナー 2回	83%	4回 2回	100%	○			プログラム1回中止
項目数			計 23 項目				7	15	1	
点数 (標準点 23 点)			29点以上:水準を上回る 21点から 28点:水準どおり 20点以下:水準を下回る				14	15	0	29点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切捨)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切捨)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
中高年の雇用就業支援										
中高年の雇用就業支援事業										
アドバイザーによる支援										
キャリアカウンセラーの配置	32ポスト	就職支援アドバイザーとしての役割を持つキャリアカウンセラーを配置 求職者に対する個別カウンセリングを実施 求人情報等の提供や職業紹介を実施	32ポスト	100%					○	
求職活動支援セミナー										
小規模セミナー	372回	「自己理解促進」、「就職対策支援」、「応募活動支援」、「自律活動支援プログラム」、「在職者支援」を開催	401回	108%					○	緊急事態措置等の期間に予定していた81回のセミナーを中止したが、計画を上回る401回実施したことから、水準を上回ると評価する
大規模セミナー	6回	求人市場の現状確認や今後の求職活動の進め方などに関するセミナーを開催	6回	100%					○	
能力開発コース										
再就職基礎講座	300人	求人市場で求められている職業人としての能力を身につける短期講座を開催	538人	179%					○	参加希望者が多く、実施回数を増やして対応
スキルアップ講座	200人	パソコン操作技術に乏しい求職者に対し、ビジネスで役立つパソコン技術を身につける講座を開催	646人	323%					○	参加希望者が多く、定員を増やして対応
資格取得等支援講座	200人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援を実施	70人	35%	140人	70%			○	定員1/2で実施 → 70人×2倍=140人に補正
雇用就業情報の提供		求職活動に活用できる情報を提供	実施	100%					○	
小規模就職面接会の実施	6回	隔月開催で小規模の合同就職面接会を開催	6回	100%					○	
ミドルアフターのキャリアチェンジ支援										
ジョブコーディネーターによる支援	3ポスト	就職困難層へきめ細やかなサポートを行い、キャリアチェンジを促すとともに、企業と求職者とのマッチングを実施	3ポスト	100%					○	
キャリアチェンジセミナー	180人	ミドルアフター層向けに、キャリアチェンジを念頭に置いたセミナーを実施	193人	107%					○	緊急事態措置等の期間にセミナーを中止したが、最終的に予定していた12回のセミナーを実施し、実績が計画を上回る193人となったことから、水準を上回ると評価する
職種理解・職場体験プログラム	60人	キャリアチェンジセミナーの受講者を対象に、企業内実習の機会を提供	141人	235%					○	参加希望者が多く、定員を増やして対応
合同企業説明会	180人	キャリアチェンジ促進を目的とした合同企業説明会実施	93人	52%	186人	103%			○	30人×6回=180人規模 定員1/2で6回実施 → 93人×2倍=186人に補正 説明会参加企業が計画30社のところ47社の参加に対応したことから、水準を上回ると評価する
非正規就業者向けアプローチセミナー	360人	就職氷河期世代を対象に、各自のマネープラン作成、世代別の生活設計、キャリアアップ等についてのセミナーを実施	207人	58%	414人	115%			○	15人×24回=360人規模 定員1/2で24回実施 → 207人×2倍=414人に補正 緊急事態措置等の期間に中止したセミナー2回分を、6月と7月にオンラインで4回実施したことから、水準を上回ると評価する
ミドル版ワークスタート支援プログラム	30人	中高年の就職困難層を対象に、就労準備支援として、自信回復、職場に必要な基礎能力の付与及び就労体験等を組み合わせたプログラムを提供	27人	90%					○	
非正規向け特別支援										
非正規向け求職活動支援										
非正規向け求職活動支援セミナー	6回	正社員の経験が少ない求職者を対象に、求職活動に必要な情報を提供	6回	100%					○	
非正規向けパソコン講座	スキルアップ講座 130人 資格取得等支援講座 80人	就職にあたっての必須とされているパソコンスキル等を付与する講座を開催	スキルアップ講座 131人 資格取得等支援講座 120人	100.8% 150%					○	
就活エクスプレス事業										
グループワーク	620人 (飯田橋500人、多摩120人)	キャリアの振り返り(「強み」の発見)や職場訪問等による中小企業理解、応募書類作成等、5日間のグループワークを実施	373人 (飯田橋302人、多摩71人)	60%	746人	120%			○	定員1/2で実施 → 373人×2倍=746人を補正 緊急事態措置等の期間に中止したグループワーク2回分を、12月と2月に実施し、コロナ対策をとりながらグループワークを計画どおり20回実施したことを評価する
ジョブコーディネーターによる支援	7ポスト	中小企業の採用や人材活用等に精通した者を配置し、個別の求人開拓や正社員登用型求人の活用によりマッチングを支援	7ポスト	100%					○	
合同面接会	24回 (飯田橋12回、多摩12回)	非正規雇用経験者の正社員採用に意欲的な企業を開拓し、合同面接会を開催	21回 (飯田橋12回、多摩9回)	88%	24回	100%			○	多摩3回中止
短期集中コース	200人 (飯田橋120人、多摩80人)	グループワークへの継続参加が困難な者に対し、短期集中型セミナー(1日)を実施	133人 (飯田橋77人、多摩56人)	67%	153人	77%			○	飯田橋10人×12回=120人 多摩20人×4回=80人規模 多摩1回中止 → 20人×1回=20人を補正
項目数			計 20 項目				9	8	3	
点数 (標準点 20 点)			25点以上:水準を上回る 18点から24点:水準どおり 17点以下:水準を下回る				18	8	0	26点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
高齢者の雇用就業支援										
高齢者の雇用就業支援事業										
中小企業向け人材開発										
人材開発コースの開発等	1プロジェクト 1コース 1団体	協働関係団体から推薦された委員等で構成する人材確保共同PT推進委員会、コース開発(改善)PT委員会を設置し、人材開発コースを開発・改善 新たな協働団体の開拓及び可能性の調査を実施	1プロジェクト 1コース 1団体	100%					○	
人材開発コースの実施	20コース	中小企業向け人材開発コースの実施 コース説明会の開催、コース実施推進員の設置 人材開発コース普及啓発リーフレットの作成	15コース	75%	20コース	100%			○	5コース中止
中小企業向けエキスパート人材開発プログラム	4回	中小企業団体の協力により、中小企業に再就職を目指すために必要な基礎知識や働き方を身につけるための講習を実施 「人材情報」(修了生情報)の更新及び参加募集	3回	75%	4回	100%			○	1回中止
就業支援総合セミナー										
定年退職後の働き方を考えるセミナー	6回・個別相談	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	6回	100%					○	
高齢期の働き方を考えるセミナー	4回・個別相談	概ね50歳以上を対象に、高齢期の働き方を選択する際に必要な情報や知識を総合的に学ぶセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	4回	100%					○	
シニア予備群向け出張セミナー	20社	都内中小企業等に講師を派遣し、在職している概ね50歳から60歳代前半の従業員(シニア予備群)を対象に、退職後のキャリアビジョンや高齢期の働き方を考えるセミナーを実施する	18社	90%	20社	100%			○	緊急事態措置期間は、企業等に派遣を中止 → 2社中止
高齢者向け相談の実施等										
高齢者向け相談の実施		再就職等に係る高齢者からの相談に幅広く対応 職業選択チェックの実施 応募書類作成における個別添削 就職活動の各段階ごとに気づきを促すワークシートの作成・活用	実施	100%					○	
高齢者向け再就職活動支援セミナー等の実施										
基本セミナー	2,480人	就職活動に必要なノウハウを提供するセミナーを開催	3,358人	135%					○	
実践セミナー	360人	テーマごとに実践的なセミナーを開催	167人	46%	334人	93%			○	定員1/2で実施 → 167人×2倍=334人に補正
就活スタート	720人	就活を始めるに当たり、マインドチェンジやキャリアチェンジの重要性を提供	985人	137%	1,182人	164%			○	
就活応用 I	210人	再就職経験者の体験談とグループワークを通じてイメージを具体化	113人	54%	226人	108%			○	定員1/2で実施 → 113人×2倍=226人に補正 コロナ対策をとりながらグループワークを計画どおり7回実施したことを評価する
就活応用 II	150人	高齢者の求人が多い業界・職種について、企業側関係者による解説	83人	55%	166人	111%			○	定員1/2で実施 → 83人×2倍=166人に補正 企業側関係者を招いて、コロナ対策をとりながら計画どおり5回実施したことを評価する
シニアの社会参加サポートプログラム	120人	多様な働き方について就業相談機能を活用 基本的知識を整理するためのセミナー及びグループワークを開催	53人	44%	106人	88%			○	
シニアのパソコンスキルアップ講座										
入門編	初心者コース5回 入門コース12回		初心者コース3回 入門コース10回	77%	5回 12回	100%			○	初心者コース2回中止 入門コース2回中止
基礎編	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース8回	シニアコーナー利用者のパソコンスキル向上を図り、円滑な就職活動に結びつけるため、新たに「パソコンスキルアップ講座」を実施	ワード基礎コース10回 エクセル基礎コース16回 パワーポイントコース7回	83%	12回 20回 8回	100%			○	ワード基礎コース2回中止 エクセル基礎コース4回中止 パワーポイントコース1回中止
応用編	ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回		ワード応用コース4回 エクセル応用コース7回	85%	5回 8回	100%			○	ワード応用コース1回中止 エクセル応用コース1回中止
65歳以上のシニア対象職場体験事業	100人	65歳以上のシニアを対象とした職場体験を実施	74人	74%	100人	100%			○	緊急事態措置期間は、事前の企業訪問を中止したため、100人に補正
情報提供										
情報提供		高齢者就業に関する情報を就業相談時に業務端末から相談者に対し提供	実施	100%					○	
業務支援		相談者の登録管理、人材開発コースの受講者管理 相談業務統計等の集計処理業務等	実施	100%					○	
生涯現役社会推進事業	1,800人	国との連携により、高齢者のマインドチェンジやキャリアチェンジを促すセミナーを都内全域で実施	1,495人	83%	2,990人	166%			○	定員1/2で実施 → 1,495人×2倍=2,990人に補正 コロナ対策をとりながら、ハローワーク17所と区市町村と連携して各地域の会場で60回のセミナーとオンラインセミナーを6回実施したことを評価する
はつらつ高齢者就業機会創出の支援										
情報システムの運用等										
情報提供		ハローワーク求人情報を高齢システムを通じてアクティブシニア就業支援センターに選別・配信	実施	100%					○	
業務支援		アクティブシニア就業支援センターの無料職業紹介事業に係る各種情報を高齢システムで管理 相談業務統計等の集計処理業務に蓄積データを活用	実施	100%					○	
ネットワーク		アクティブシニア就業支援センターと通信回線を接続し、高齢者就業相談業務の支援、情報の共有化、業務の効率化・高度化を実現	実施	100%					○	
自所開拓求人への充実に向けた支援	2回	広域広報の実施によるアクティブシニア就業支援センターの認知度向上、求人開拓支援を図る	2回	100%					○	
地域別合同就職面接会の共催	2回	アクティブシニア就業支援センターと共催し、地域の高齢者と求人事業所との合同面接会を実施	7回	350%					○	希望が多く、実施回数を増やして対応
アクティブシニア就業支援センター職員の育成	新任研修 1コース年2回 開所準備 随時 実務研修 年間6講座	アクティブシニア就業支援センター職員に対して、職業相談等の基礎知識・技法を付与するための研修を実施	新任研修 1コース年2回 開所準備 随時 実務研修 年間6講座	100%					○	
シニア就業支援キャラバン	12回	アクティブシニア就業支援センターと連携し、地元近隣企業への就業を目的としたセミナー、合同面接会及び就職相談を実施	12回	100%					○	完全予約、入替4部制で実施
項目数			計 27 項目		5	21	1			
点数 (標準点 27 点)			34点以上・水準を上回る 24点から 33点・水準どおり 23点以下・水準を下回る		10	21	0	31点 評価水準どおり		

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考	
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
総合相談窓口等の設置											
相談員の配置	6ブース	利用者の導入部分における総合的な相談を実施 年齢横断的サービスなどについての初期相談を実施	6ブース	100%				○			
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や書籍閲覧などができる 情報コーナーを運営	実施	100%				○			
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供 求人預かり しごと検索システムの運営	実施	100%				○			
専門相談窓口の設置											
起業・創業への支援	週3日	起業・創業希望者への個別相談を実施	週3日	100%				○			
職業適性相談	週5日	職業適性検査を実施 職業適性に関する個別相談を実施	週5日	100%				○			
NPO・ボランティアなど多様な働き方相談	週5日	NPO・ボランティア等の多様な働き方に関する情報を 提供	週5日	100%				○			
社会保険・年金相談	週2日	生活設計の基礎となる保険・年金等に関する相談を 実施	週2日	100%				○			
メンタルケア相談	週2日	しごとセンター利用者のうち、メンタル不安等就職困 難者に対する支援等を実施	週2日	100%				○			
多様な働き方情報の収集・提供											
多様な働き方セミナー	21回 25回(区市町村分)	様々な働き方、ワークスタイルについて情報提供を行う とともに、働くことに関わる関連知識、ノウハウについて 身につけることのできるセミナー(区市町村と連携したセ ミナーも含む)を開催	21回 10回(区市町村分)	67%	21回 12回	72%		○	区市町村からの申込み12回 のうち2回を中止したため、 区市町村分を12回に補正		
多様な就業に関する情報の収集		各種団体のヒアリングや実態調査を実施 情報コーナー図書整備・充実により最新の情報を 収集	実施	100%				○			
NPOなどでの就業体験	20人	NPO等での就業を希望する者などを対象に短期間 の就業体験機会を提供	8人	40%	20人	100%		○	緊急事態措置期間は、就業 体験を中止したが、受入先 のNPOと調整し、コロナ対策 をとりながら、就業体験を 実施したことを評価する		
就業を支援する情報サイトの運営		求人情報など多様な就業を促進するサイトを運営	実施	100%				○			
就職件数など事業実績の把握		来所者の就業状況を把握 就職後の定着状況についての把握、分析を実施	実施	100%				○			
多様な働き方に関する調査等		自営型テレワーク等に関して、その状況を調査し、 把握した上で情報提供等の支援を実施	実施	100%				○			
オンライン就職支援		オンラインでの相談受付やセミナー等を実施	実施	100%				○			
早期再就職緊急支援事業											
早期再就職緊急支援事業	20回 緊急就職支援プログラム6回 緊急就職面接会14回	キャリアカウンセリングや就職セミナー・業界研究、 就職面接会等を集中的に1日で実施する	20回 緊急就職支援プログラム6回 緊急就職面接会14回	100%				○			
就労困難者特別支援事業											
就労困難者特別支援事業	60人	就労困難者に対する支援窓口を設置し、キャリアカ ウンセラー等によるチーム支援を構成することで、 利用者の社会的自立及び就労の準備性の向上を 目指す	145人	242%				○			
項目数			計 17 項目								
点数 (標準点 17 点)			22点以上:水準を上回る 15点から21点:水準どおり 14点以下:水準を下回る					2	15	0	17点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
女性の雇用就業支援										
女性再就職支援窓口等の運営										
アドバイザーによる支援	5ポスト	就職支援アドバイザーとしてキャリアカウンセラーを配置し、個別カウンセリングを実施 求人情報の提供や職業紹介、仕事と家庭を両立しながら働くためのアドバイス、保育に関する相談の実施等	5ポスト	100%				○		
ミニセミナーの実施	100回	課題別・活動段階別支援のため、少人数のグループワークを中心としたミニセミナーを実施	104回	104%			○			緊急事態措置等の期間にセミナーを18回中止したが、コロナ対策をとりながらグループワークを、計画を上回る104回実施したことから、水準を上回ると評価する
就職面接会等の実施	10回	書類選考を経ない面接機会確保のため、小規模の就職面接会を実施	36回	360%			○			参加希望企業が多く、実施回数を増やして対応
雇用就業情報等の提供		求職活動に活用できる情報の提供 各行政機関等の子育て支援情報や保育施設の情報、仕事と家庭の両立に関する情報の提供等	実施	100%			○			
キッズスペースの設置		子ども連れでも安心して来所できるよう、キッズスペースを設置	実施	100%			○			
交流サイトの運営		応援テラス利用者限定のサイトをしごとセンターのホームページ内に開設 支援情報や利用者同士の交流の場を提供	実施	100%			○			
啓発セミナー	3回 (輝け！女性就業拡大事業3回)	応援テラスの各種事業や再就職事例、家庭と仕事を両立している著名人による講演等を内容とするセミナーを実施	3回 (輝け！女性就業拡大事業3回)	100%			○			
職場見学の実施	100人	ブランクのあいた女性や子育て中の女性のために職場見学を実施	7人	7%	97人	97%	○			10人×10回=100人規模 9回中止 → 10人×9回=90人を補正
子育て女性向け再就職支援イベントの実施	150人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	55人	37%	110人	73%	○			50人×3回=150人規模 定員1/2で3回実施 → 55人×2倍=110人に補正
女性再就職支援事業										
新・女性再就職サポートプログラム等										
新・女性再就職サポートプログラムの実施										
女性再就職サポートプログラム(拠点型)	9回	基礎知識や業界事情、最新のスキルを身につける能力開発に加えて職場体験までを組み合わせた総合的な支援プログラムを実施	7回	78%	9回	100%	○			2回中止
女性再就職サポートプログラム(拠点型)フォローアップセミナー	2回	サポートプログラム(拠点型)受講修了後、未就職の受講生に対して、グループワークを中心としたセミナーなどを実施	7回	350%			○			サポートプログラム(拠点型)を受講した利用者のニーズに対応するため、回数を増やして対応
女性再就職サポートプログラム(地域型)	6回	就職活動ノウハウや基礎スキルの付与、企業等との交流会を組み合わせた短期間の総合的支援プログラムを実施 求職者の自宅に近い地域で開催	5回	83%	6回	100%	○			1回中止
女性再就職サポートプログラム(地域型)職場体験事業	6回	サポートプログラム(地域型)受講修了後、希望者に対して、職場体験を実施	5回	83%	6回	100%	○			1回中止
女性しごと応援出張テラス	セミナー10回 個別就業相談会10回	都内各地において、セミナーと個別相談会を実施し、再就職に関する情報を発信するセミナーを実施	セミナー10回 個別就業相談会10回	100%			○			
子育て女性向けセミナー	7回	就職活動を検討している育児中の女性を対象として、子ども連れで受講可能な「就活」と「保活」に関する情報提供セミナーを開催	5回	71%	7回	100%	○			2回中止
女性向け在宅ワークセミナー	45人	家庭の事情等により自宅で働くことを希望する女性向けに、在宅ワーク等に関する基本的な情報を提供するセミナーを実施	84人	187%			○			
託児室の運営等		センターに設置した託児室の運営 サポートプログラム(地域型)等の実施に伴う託児については、施設借り上げにより実施	実施	100%			○			
項目数			計 17 項目				4	12	1	
点数 (標準点 17 点)			22点以上:水準を上回る 15点から 21点:水準どおり 14点以下:水準を下回る				8	12	0	20点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考	
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
しごとセンターの多摩地域展開											
しごとセンター多摩の管理運営		しごとセンター多摩の管理運営									
しごとセンター多摩の建物維持管理		しごとセンター多摩の建物維持管理									
しごとセンター多摩事業											
総合相談サービス											
総合案内		利用者の導入部分で総合的にサービスを案内	実施	100%					○		
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や情報検索のほか、書類閲覧も可能な情報コーナーを運営	実施	100%					○		
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供求人預かり	実施	100%					○		
全年齢層に対する基幹サービスの提供											
キャリアカウンセリング	12ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	12ポスト	100%					○		
求人情報等の提供による就業支援		具体的な業界情報を含め条件等に合致した求人情報を求職者に提示し、対象となる求人企業と連絡調整しマッチングを実施	実施	100%					○		
就職ノウハウセミナーの実施	36回	厳しい現状を十分周知するとともに求職者に求人市場の現状確認をさせ、今後の就職活動の進め方などを指導	49回	136%				○			
能力開発コースの実施	24回	就職にあたっての必須要件とされているパソコン操作技術に乏しい求職者に対して技術を付与	20回	83%	24回	100%			○	4回中止	
土曜就活セミナーの実施	40回	平日に時間の取れない方を主な対象に、毎回仕事に関するテーマを設定して必要な知識を付与	35回	88%	39回	98%			○	4回中止	
ターゲットを絞ったサービス提供											
若年者就職力アップ事業	20人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	8人	40%						○	
若年者早期就職支援事業	45人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連携したメニューを提供	18人	40%	33人	80%				○	15人×3回=45人規模 1回中止 → 15人×1回=15人を補正
定年等退職者に対する支援	3回	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施	3回	100%						○	
新卒支援事業											
面接対策セミナー	5回	就職面接会の上手な活用方法(企業の回り方)と模擬面接をセットにしたセミナーを実施	3回	60%	5回	100%				○	2回中止
合同企業説明会	5回	新卒採用活動中の企業を集めた合同企業説明会を実施	6回	120%					○		
中小企業見学会	15回	新卒者等の中小企業の理解を促進するため、合同企業説明会に参加した企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	10回	67%	12回	80%				○	2回中止
大学等就職支援者向けセミナー	2回	東京しごとセンター多摩の就職支援に関するノウハウを活用し、大学のキャリアセンター職員等を対象に、新卒者等の就職支援に関するセミナーを実施	2回	100%						○	
保護者向けセミナー	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、若年者の就職の現状や中小企業の理解を高めるセミナーを実施	1回	100%						○	
保護者向け中小企業見学会	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者が、中小企業の現状を理解できるよう、大学等と連携して中小企業の現場を体験できる見学会を実施	1回	100%						○	
多摩地域若者・中小企業交流支援事業											
講師派遣	125回	中小企業交流会に先立ち、効果的の実施に向け、中小企業の魅力や適職探しのポイントなどについて学生に理解の場を提供	81回	65%	102回	82%				○	4月・5月は派遣中止 → 125回÷12月=10.4回 10.4回×2ヶ月=20.8回 21回を補正
企業研究・業界研究セミナー	300人	専門家による当日参加予定の企業・業界研究を中心としたセミナーの実施	190人	63%	220人	73%				○	30人×10回=300人規模 1回中止 → 30人×1回=30人を補正
人事担当者向けセミナー	40社	企業人事担当者向け、自社の魅力の伝え方、人材確保の採用戦略等に関するセミナーの実施	36社	90%	40社	100%				○	4社×10回=40社規模 1回中止 → 4社×1回=4社を補正
オリエンテーション	300人	参加者同士のコミュニケーションを図り、交流会での企業に対する質問等を考えるワークの実施	179人	60%	239人	80%				○	30人×10回=300人規模 2回中止 → 30人×2回=60人を補正
若者・企業交流会	10回	多摩地域の学生を対象に、企業経営者等との交流会を実施	9回	90%	10回	100%				○	1回中止
企業見学会・職場体験の実施	10回	参加者の希望業界及び職種に対する更なる理解促進を目的として、交流会参加企業への企業見学会・職場体験の実施	37回	370%					○		
地域連携事業											
就業支援事例検討会	2回	市町村の就業支援担当者向けに、就業支援における課題を検討する事例検討会を開催	1回	50%	2回	100%				○	1回中止
企業向けセミナー	1回	多摩地域の企業に対して、中小企業団体等と連携して、企業の好事例の紹介、早期退職者を生み出さないような企業の雇用環境作り等を内容としたセミナーを実施	1回	100%						○	
企業説明会	1回	多摩地域の中小企業に対し、自ら企業PRを行う場を設け、求職者を多摩地域の中小企業へ誘導するような企業説明会を実施	1回	100%						○	
合同就職面接会	大規模面接会 4回 地域就職面接会 15回	中小企業団体等と連携して、求職者を対象とし、多摩地域の中小企業等へ人材供給するための合同就職面接会を実施	大規模面接会4回 地域就職面接会11回	79%	4回 15回	100%				○	地域就職面接会4回中止
地域セミナー	20回	面接直前・事前対策として、求職者向けセミナーを実施	13回	65%	20回	100%				○	7回中止
女性向けサービス											
女性再就職支援窓口等の運営											
多摩ランチの設置		多摩地域に、女性に対する専門の相談支援機関を設置し個別カウンセリング及びセミナーを実施するとともに、託児スペース付きで設置	実施	100%						○	
キャリアカウンセリング	2ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	2ポスト	100%						○	
ミニセミナー	30回	利用者の抱えている課題別・活動段階別の支援として、一方的な知識やノウハウの付与だけではなく、グループワークを通して、自らの気づきを促す	30回	100%						○	

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
啓発セミナー	1回	再就職に関心のある女性を対象に啓発セミナーを実施し、女性の再就職の促進を図る	1回	100%				○		
子育て女性向け再就職支援イベントの	50人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	15人	30%	50人	100%		○		50人×年1回=50人規模 →定員を減らして実施 50人に補正 募集期間が緊急事態措置等の 期間となり、6月にミニ交流会 形式でコロナ対策をとりなが らイベントを実施したことを 評価する
女性再就職支援事業										
女性再就職サポートプログラム(拠点型)	女性再就職サポートプログラム(拠点型)4回 フォローアップセミナー2回	女性が再就職しやすい職種をコーステーマとして、基礎知識や業界事情、能力開発、企業人事担当者との意見交換の場の設置等を組み合わせた総合的な支援プログラムを実施 受講修了者への確実なフォロー体制も構築	(拠点型)4回 フォローアップセミナー4回	133%				○		
女性再就職支援サポートプログラム(地域型)	女性再就職サポートプログラム(地域型)3回 職場体験事業3回	既存サポートプログラムより期間を短く、また自宅近くで総合的な支援プログラムを開催し、これから就職したいが育児等で家庭や地域から出にくい層に対する支援を実施	(地域型)2回 職場体験事業2回	67%	3回 3回	100%		○		(地域型)1回中止 職場体験事業1回中止
女性しごと応援出張テラス	セミナー10回 個別就業相談会10回	再就職にあたっての心構え、はじめの一歩を踏み出すためのノウハウ等を学ぶセミナーを再就職に関する情報提供の一つとして実施 セミナー終了後、さらに個別就業相談会を開催	セミナー9回 個別就業相談会9回	90%	10回 10回	100%		○		セミナー1回中止 個別就業相談会1回中止
子育て女性向けセミナー	3回	育児中の女性を対象として、再就職にあたっての心構えのほか、家事と育児の両立や保育施設等の確保と就活の両立に関する情報を提供するセミナーを実施	3回	100%				○		
託児室の運営等		託児室の運営を委託	実施	100%				○		
項目数			計 38 項目				4	28	6	
点数 (標準点 38 点)			48点以上:水準を上回る 34点から47点:水準どおり 33点以下:水準を下回る				8	28	0	36点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)	達成率	補正換算		評価			備考
					実績	達成率	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの管理運営										
提供施設等の使用の承認		提供施設(講堂、セミナー室)及び附帯設備の使用承認・貸出	実施	100%				○		貸出施設利用状況のとおり。
「しごとセンター業務システム」の運営	一式	「しごとセンター業務システム」の管理運営	一式	100%				○		必要に応じて改修を行い、適切な運用を図った。
しごとセンターの建物維持管理		しごとセンターの建物維持管理	実施	100%				○		
項目数			計 3 項目				0	3	0	
点数 (標準点 3 点)			4点以上:水準を上回る 3点:水準どおり 2点以下:水準を下回る				0	3	0	3点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

特記事項	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響による利用者ニーズを捉えて、オンライン就職支援を6月から開始した。また、雇用環境の急激な悪化に対する雇用緊急対策として、早期再就職緊急支援事業を実施した。雇用情勢に応じて、都と連携を図りながら業務を展開したことは、高く評価できる。</p> <p>○感染拡大防止対策を徹底することにより、窓口業務の運営、各種セミナーや説明会・面接会等を開催するだけでなく、10月に女性しごと応援テラス多摩ランチを新たに立川に開設した。コロナ禍においても、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことは評価できる。</p> <p>○建物維持管理については、定期的な保守や点検を確実に言い、施設の老朽化等による不具合に対しても的確に対応しており、公的機関の施設としての機能維持を適切に実施している。</p> <p>○引き続き、雇用情勢の変化や利用者の状況、今後の都施策等の展開に十分留意し、その時々状況に合致した、より効果的な事業の実施が行われるよう、積極的な取組に努められたい。</p>
要改善事項等	

【一次評価結果】

評点	標準点	評価基準				一次評価結果	得点	「S」・「A」 「B」・「C」
		S	A	B	C			
	40点	54点以上	50点以上 53点以下	36点以上 49点以下	35点以下		51点	

※ 評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点を標準点とする。

※ S : 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)点以上

A : 標準点1.25倍(小数点以下切上げ)点以上 かつ 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)-1点以下

B : 標準点0.88倍(小数点以下切捨て)+1点以上 かつ 標準点の1.25倍(小数点以下切上げ)-1点以下

C : 標準点の0.88倍(小数点以下切捨て)以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	公益会計基準を導入しており、公認会計士による外部監査を取り入れ、適切に経理処理を行っている。また、財務状況についても問題ない。
------------	---

2. 特命要件の継続

特命要件の継続	特命要件が継続しているか		
	特命の前提となった施設の位置づけ	(変更なし)	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	(団体の特性が十分に発揮されている)	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	(実施)	未実施
	事業の取組状況・進捗度	(適切な実施状況)	不適切な実施状況
<評価の内容> しごとセンターは、雇用情勢の変動や都民ニーズに応じて、機動的に事業を行う施設であり、特命の前提となった施設の位置づけに変更はない。 また、雇用就業分野における唯一の都の政策連携団体として、高齢者や障害者の就業支援のノウハウを活用しながら国や都、民間事業者等と連携した事業展開を行っており、特命要件は継続している。			

令和 2 年度

東京都しごとセンター指定管理者
二次評価書
(案)

東京都しごとセンター指定管理者評価委員会

東京都しごとセンター指定管理者評価委員会による二次評価

- 1 評価事業 令和2年度東京都しごとセンター事業
- 2 指定管理者 公益財団法人東京しごと財団
- 3 評価内容等

評価内容

- ・ 二次評価
- ・ 管理状況
- ・ 事業効果
- ・ その他

評価基準 4段階

- ・ 「S」：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- ・ 「A」：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
- ・ 「B」：管理運営が良好であった施設
- ・ 「C」：管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

4 評価結果

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	当該施設の管理業務を的確に把握し、創意工夫により適切に維持している。
事業効果	財団の就業促進に関するノウハウやネットワークを活用するとともに、事業計画に示した取組を適切に実施している。
その他	利用者サービスの質の向上や利用促進に向けた取組として、関係機関との連携も積極的に行い、業務改善や広報・PRに努めている。

令和2年度事業報告書

区分	規模(概ね)	内容	実績(R2)
若年者の雇用就業支援			
若年者の雇用就業支援事業			
様々な職業情報の提供			
情報コーナーの設置		職業適性診断システムの導入、 閲覧用図書及び求人情報誌等の整備・充実 等	実施
就職スキルアップ支援			
就職支援アドバイザー	19ポスト	求職者への個別就職指導(カウンセリング、導入相談等)、 グループカウンセリングによる就職指導、 各種セミナー等の企画、調整、実施、 ハローワーク等連携機関との連絡、調整 若者しごとホットラインの実施 等	19ポスト
出張型支援	120回	公的機関を活用することに対して消極的な層や無関心な 層、就職活動に自信を喪失している層に向けて、しごとセン ターのサービスを出張型で提供する。併せて新規登録を促 し、来所を誘導する。	122回
能力開発コース	50人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等 のための支援講座等を開催	55人
若年者就職力アップ事業	80人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニ ケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプ ログラムを提供	72人
若年者早期就職支援事業	120人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグルー プワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連 携したメニューを提供	64人
若者と企業マッチング支援			
若年者合同面接会	4回	若年者を対象とした合同面接会を開催	2回
合同企業説明会	若年者向け合同企業説明会 10 回 新卒向け合同企業説明会 6回	大企業指向等によるミスマッチ解消のため、若年者の採用 に意欲的な中小企業と若年者が交流できる合同企業説明 会を実施	若年者向け合同企業説明会 9 回 新卒向け合同企業説明会 4回
中小企業見学	50回	中小企業の理解を促すため、企業に赴いて、中小企業の 現場を体験できる見学会を実施	52回
合同企業説明会直前対策セミナー	10回	合同企業説明会を効果的に活用し、応募の促進につなげ るための、直前対策セミナーを実施する。	9回
面接対策セミナー	13回	面接会等を通じた就職決定を支援するため、就職面接会 の上手な活用方法と、模擬面接をセットにしたセミナーを 実施する。	14回
業界職種研究ライブラリーの設置	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1000社 業界職種勉強会 24回 登録企業PR冊子の作成 4回	都内中小企業等の事業内容や自社PR等の公開及びアド バイザーを通じた求職者への情報提供 セミナーと企業訪問をセットにした業界職種勉強会の実施 企業PR記事等を掲載した冊子の作成	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 907社 業界職種勉強会 20回 登録企業PR冊子の作成 4回
採用・育成サポートセミナー	12回	合同企業説明会等を通じた採用ノウハウを伝達するセミ ナーを実施する。また、早期離職防止のため、人材育成に 力を入れている企業の社長等を講師に迎えセミナーを実施 する。	12回
採用・育成に関する好事例の提供	40回	若年者の採用や人材育成に関する企業の好事例を取 材し、ライブラリー登録企業に対してメールマガジンを配信す る。	40回
若年者の職場定着支援事業			
社会人基礎力プログラム	基礎編 3回 応用編 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内 の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援するメニューを 実施	基礎編 3回 応用編 3回
キャリア形成プログラム	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内 の者に対し、キャリア形成等を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回
参加者交流会	3回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグループワーク 等、交流会を実施	3回
育成担当者向け早期離職防止セミナ	2回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するための人材育 成ノウハウ等を提供	2回
管理者向け早期離職防止セミナー	2回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等 を提供	2回
早期離職防止ガイドブック	2,000部	早期離職防止のノウハウ等をまとめたガイドブックを作成し 配布	2,000部
就活バックアップ事業	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 1回 保護者向け中小企業見学 2回	新卒者等の就職活動の間接的支援を促進するため、大学 等就職支援者及び新卒者等の保護者を対象とした事業を 実施	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 2回 保護者向け中小企業見学 2回
高校生向け就業意識啓発講座	20校	都内高校に講師を派遣して、高校生の就業意識を醸成す る内容の啓発講座を、学校の要望に沿った形で実施	24校
就活アプローチ事業	プログラム 4回 セミナー 2回	就職活動に踏み出せない若年者に対し、専門的なノウ ハウを有する専門機関を活用し、支援メニューを実施	プログラム 3回 セミナー 2回
中高年の雇用就業支援			
中高年の雇用就業支援事業			
アドバイザーによる支援			
キャリアカウンセラーの配置	32ポスト	就職支援アドバイザーとしての役割を持つキャリアカウンセラーを 配置 求職者に対する個別カウンセリングを実施 求人情報等の提供や職業紹介を実施	32ポスト
求職活動支援セミナー			
小規模セミナー	372回	「自己理解促進」、「就職対策支援」、「応募活動支援」、「自 律活動支援プログラム」、「在職者支援」を開催	401回
大規模セミナー	6回	求人市場の現状確認や今後の求職活動の進め方などに関 するセミナーを開催	6回
能力開発コース			
再就職基礎講座	300人	求人市場で求められている職業人としての能力を身につける 短期講座を開催	538人
スキルアップ講座	200人	パソコン操作技術に乏しい求職者に対し、ビジネスで役立つ パソコン技術を身につける講座を開催	646人

	資格取得等支援講座	200人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援を実施	70人
	雇用就業情報の提供		求職活動に活用できる情報を提供	実施
	小規模就職面接会の実施	6回	隔月開催で小規模の合同就職面接会を開催	6回
	ミドルアフターのキャリアチェンジ支援			
	ジョブコーディネーターによる支援	3ポスト	就職困難層へきめ細やかなサポートを行い、キャリアチェンジを促すとともに、企業と求職者とのマッチングを実施	3ポスト
	キャリアチェンジセミナー	180人	ミドルアフター層向けに、キャリアチェンジを念頭に置いたセミナーを実施	193人
	職種理解・職場体験プログラム	60人	キャリアチェンジセミナーの受講者を対象に、企業内実習の機会を提供	141人
	合同企業説明会	180人	キャリアチェンジ促進を目的とした合同企業説明会実施	93人
	非正規就業者向けアプローチセミナー	360人	就職氷河期世代を対象に、各自のマナープラン作成、世代別の生活設計、キャリアアップ等についてのセミナーを実施	207人
	ミドル版ワークスタート支援プログラム	30人	中高年の就職困難層を対象に、就労準備支援として、自信回復、職場に必要な基礎能力の付与及び就労体験等を組み合わせたプログラムを提供	27人
	非正規向け特別支援			
	非正規向け求職活動支援			
	非正規向け求職活動支援セミナー	6回	正社員の経験が少ない求職者を対象に、求職活動に必要な情報を提供	6回
	非正規向けパソコン講座	スキルアップ講座 130人 資格取得等支援講座 80人	就職にあたっての必須とされているパソコンスキル等を付与する講座を開催	スキルアップ講座 131人 資格取得等支援講座 120人
	就活エクスプレス事業			
	グループワーク	620人 (飯田橋500人、多摩120人)	キャリアの振り返り(「強み」の発見)や職場訪問等による中小企業理解、応募書類作成等、5日間のグループワークを実施	373人 (飯田橋302人、多摩71人)
	ジョブコーディネーターによる支援	7ポスト	中小企業の採用や人材活用等に精通した者を配置し、個別の求人開拓や正社員登用型求人の活用によりマッチングを支援	7ポスト
	合同面接会	24回 (飯田橋12回、多摩12回)	非正規雇用経験者の正社員採用に意欲的な企業を開拓し、合同面接会を開催	21回 (飯田橋12回、多摩9回)
	短期集中コース	200人 (飯田橋120人、多摩80人)	グループワークへの継続参加が困難な者に対し、短期集中型セミナー(1日)を実施	133人 (飯田橋77人、多摩56人)
	高齢者の雇用就業支援			
	高齢者の雇用就業支援事業			
	中小企業向け人材開発			
	人材開発コースの開発等	1プロジェクト 1コース 1団体	協働関係団体から推薦された委員等で構成する人材確保共同PT推進委員会、コース開発(改善)PT委員会を設置し、人材開発コースを開発・改善 新たな協働団体の開拓及び可能性の調査を実施	1プロジェクト 1コース 1団体
	人材開発コースの実施	20コース	中小企業向け人材開発コースの実施 コース説明会の開催、コース実施推進員の設置 人材開発コース普及啓発リーフレットの作成	15コース
	中小企業向けエキスパート人材開発プログラム	4回	中小企業団体の協力により、中小企業に再就職を目指すために必要な基礎知識や働き方を身につけるための講習を実施 「人材情報」(修了生情報)の更新及び参加募集	3回
	就業支援総合セミナー			
	定年退職後の働き方を考えるセミナー	6回・個別相談	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	6回
	高齢期の働き方を考えるセミナー	4回・個別相談	概ね50歳以上を対象に、高齢期の働き方を選択する際に必要な情報や知識を総合的に学ぶセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	4回
	シニア予備群向け出張セミナー	20社	都内中小企業等に講師を派遣し、在職している概ね50歳から60歳代前半の従業員(シニア予備群)を対象に、退職後のキャリアビジョンや高齢期の働き方を考えるセミナーを実施する	18社
	高齢者向け相談の実施等			
	高齢者向け相談の実施		再就職等に係る高齢者からの相談に幅広く対応 職業選択チェックの実施 応募書類作成における個別添削 就職活動の各段階ごとに気づきを促すワークシートの作成・活用	実施
	高齢者向け再就職活動支援セミナー等の実施			
	基本セミナー	2,480人	就職活動に必要なノウハウを提供するセミナーを開催	3,358人
	実践セミナー	360人	テーマごとに実践的なセミナーを開催	167人
	就活スタート	720人	就活を始めるに当たり、マインドチェンジやキャリアチェンジの重要性を提供	985人
	就活応用 I	210人	再就職経験者の体験談とグループワークを通じてイメージを具体化	113人
	就活応用 II	150人	高齢者の求人が多い業界・職種について、企業側関係者による解説	83人
	シニアの社会参加サポートプログラム	120人	多様な働き方について就業相談機能を活用 基本的知識を整えるためのセミナー及びグループワークを開催	53人
	シニアのパソコンスキルアップ講座			
	入門編	初心者コース5回 入門コース12回		初心者コース3回 入門コース10回
	基礎編	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース8回	シニアコーナー利用者のパソコンスキル向上を図り、円滑な就職活動に結びつけるため、新たに「パソコンスキルアップ講座」を実施	ワード基礎コース10回 エクセル基礎コース16回 パワーポイントコース7回
	応用編	ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回		ワード応用コース4回 エクセル応用コース7回
	65歳以上のシニア対象職場体験事業	100人	65歳以上のシニアを対象とした職場体験を実施	74人
	情報提供			
	情報提供		高齢者就業に関する情報を就業相談時に業務端末から相談者に対し提供	実施
	業務支援		相談者の登録管理、人材開発コースの受講者管理 相談業務統計等の集計処理業務等	実施
	生涯現役社会推進事業	1,800人	国との連携により、高齢者のマインドチェンジやキャリアチェンジを促すセミナーを都内全域で実施	1,495人
	はつらつ高齢者就業機会創出の支援 情報システムの運用等			

		情報提供		ハローワーク求人情報を高年齢システムを通じてアクティブシニア就業支援センターに選別・配信	実施
		業務支援		アクティブシニア就業支援センターの無料職業紹介事業に係る各種情報を高年齢システムで管理 相談業務統計等の集計処理業務に蓄積データを活用	実施
		ネットワーク		アクティブシニア就業支援センターと通信回線を接続し、高齢者就業相談業務の支援、情報の共有化、業務の効率化・高度化を実現	実施
		自所開拓求人の充実に向けた支援	2回	広域広報の実施によるアクティブシニア就業支援センターの認知度向上、求人開拓支援を図る	2回
		地域別合同就職面接会の共催	2回	アクティブシニア就業支援センターと共催し、地域の高齢者と求人事業所との合同面接会を実施	7回
		アクティブシニア就業支援センター職員の育成	新任研修 1コース年2回 開所準備 随時 実務研修 年間6講座	アクティブシニア就業支援センター職員に対して、職業相談等の基礎知識・技法を付与するための研修を実施	新任研修 1コース年2回 開所準備 随時 実務研修 年間6講座
		シニア就業支援キャラバン	12回	アクティブシニア就業支援センターと連携し、地元近隣企業への就業を目的としたセミナー、合同面接会及び就職相談を実施	12回
	総合相談窓口等の設置				
		相談員の配置	6ブース	利用者の導入部分における総合的な相談を実施 年齢横断的サービスなどについての初期相談を実施	6ブース
		情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や書籍閲覧などができる情報コーナーを運営	実施
		事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供 求人預かり しごと検索システムの運営	実施
	専門相談窓口の設置				
		起業・創業への支援	週3日	起業・創業希望者への個別相談を実施	週3日
		職業適性相談	週5日	職業適性検査を実施 職業適性に関する個別相談を実施	週5日
		NPO・ボランティアなど多様な働き方相談	週5日	NPO・ボランティア等の多様な働き方に関する情報を提供	週5日
		社会保険・年金相談	週2日	生活設計の基礎となる保険・年金等に関する相談を実施	週2日
		メンタルケア相談	週2日	しごとセンター利用者のうち、メンタル不安等就職困難者に対する支援等を実施	週2日
	多様な働き方情報の収集・提供				
		多様な働き方セミナー	21回 25回(区市町村分)	様々な働き方、ワークスタイルについて情報提供を行うとともに、働くことに関わる関連知識、ノウハウについて身につけることのできるセミナー(区市町村と連携したセミナーも含む)を開催	21回 10回(区市町村分)
		多様な就業に関する情報の収集		各種団体のヒアリングや実態調査を実施 情報コーナー図書の整備・充実により最新の情報を収集	実施
		NPOなどでの就業体験	20人	NPO等での就業を希望する者などを対象に短期間の就業体験機会を提供	8人
		就業を支援する情報サイトの運営		求人情報など多様な就業を促進するサイトを運営	実施
		就職件数など事業実績の把握		来所者の就業状況を把握 就職後の定着状況についての把握、分析を実施	実施
		多様な働き方に関する調査等		自営型テレワーク等に関して、その状況を調査し、把握した上で情報提供等の支援を実施	実施
		オンライン就職支援		オンラインでの相談受付やセミナー等を実施	実施
	早期再就職緊急支援事業				
		早期再就職緊急支援事業	20回 緊急就職支援プログラム6回 緊急就職面接会14回	キャリアカウンセリングや就職セミナー・業界研究、就職面接会等を集中的に1日で実施する	20回 緊急就職支援プログラム6回 緊急就職面接会14回
	就労困難者特別支援事業				
		就労困難者特別支援事業	60人	就労困難者に対する支援窓口を設置し、キャリアカウンセラー等によるチーム支援を構成することで、利用者の社会的自立及び就労の準備性の向上を目指す	145人
	女性の雇用就業支援				
	女性再就職支援窓口等の運営				
		アドバイザーによる支援	5ポスト	就職支援アドバイザーとしてキャリアカウンセラーを配置し、個別カウンセリングを実施 求人情報の提供や職業紹介、仕事と家庭を両立しながら働くためのアドバイス、保育に関する相談の実施等	5ポスト
		ミニセミナーの実施	100回	課題別・活動段階別支援のため、少人数のグループワークを中心としたミニセミナーを実施	104回
		就職面接会等の実施	10回	書類選考を経ない面接機会確保のため、小規模の就職面接会を実施	36回
		雇用就業情報等の提供		求職活動に活用できる情報の提供 各行政機関等の子育て支援情報や保育施設の情報、仕事と家庭の両立に関する情報の提供等	実施
		キッズスペースの設置		子ども連れでも安心して来所できるよう、キッズスペースを設置	実施
		交流サイトの運営		応援テラス利用者限定のサイトをしごとセンターのホームページ内に開設 支援情報や利用者同士の交流の場を提供	実施
		啓発セミナー	3回 (輝け！女性就業拡大事業3回)	応援テラスの各種事業や再就職事例、家庭と仕事を両立している著名人による講演等を内容とするセミナーを実施	3回 (輝け！女性就業拡大事業3回)
		職場見学の実施	100人	ブランクのあいた女性や子育て中の女性のために職場見学を実施	7人
		子育て女性向け再就職支援イベントの実施	150人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	55人
	女性再就職支援事業				
		新・女性再就職サポートプログラム等			
		新・女性再就職サポートプログラムの実施			
		女性再就職サポートプログラム(拠点型)	9回	基礎知識や業界事情、最新のスキルを身につける能力開発に加えて職場体験までを組み合わせた総合的な支援プログラムを実施	7回
		女性再就職サポートプログラム(拠点型)フォローアップセミナー	2回	サポートプログラム(拠点型)受講修了後、未就職の受講生に対して、グループワークを中心としたセミナーなどを実施	7回
		女性再就職サポートプログラム(地域型)	6回	就職活動ノウハウや基礎スキルの付与、企業等との交流会を組み合わせた短期間の総合的支援プログラムを実施 求職者の自宅に近い地域で開催	5回

	女性再就職サポートプログラム(地域型)職場体験事業	6回	サポートプログラム(地域型)受講修了後、希望者に対して、職場体験を実施	5回
	女性しごと応援出張テラス	セミナー10回 個別就業相談会10回	都内各地において、セミナーと個別相談会を実施し、再就職に関する情報を発信するセミナーを実施	セミナー10回 個別就業相談会10回
	子育て女性向けセミナー	7回	就職活動を検討している育児中の女性を対象として、子ども連れで受講可能な「就活」と「保活」に関する情報提供セミナーを開催	5回
	女性向け在宅ワークセミナー	45人	家庭の事情等により自宅で働くことを希望する女性向けに、在宅ワーク等に関する基本的な情報を提供するセミナーを実施	84人
	託児室の運営等		センターに設置した託児室の運営サポートプログラム(地域型)等の実施に伴う託児については、施設借り上げにより実施	実施
しごとセンターの多摩地域展開				
	しごとセンター多摩の管理運営		しごとセンター多摩の管理運営	
	しごとセンター多摩の建物維持管理		しごとセンター多摩の建物維持管理	
	しごとセンター多摩事業			
	総合相談サービス			
	総合案内		利用者の導入部分で総合的にサービスを案内	実施
	情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や情報検索のほか、書類閲覧も可能な情報コーナーを運営	実施
	事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供求人預かり	実施
	全年齢層に対する基幹サービスの提供			
	キャリアカウンセリング	12ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	12ポスト
	求人情報等の提供による就業支援		具体的な業界情報を含め条件面等に合致した求人情報を求職者に提示し、対象となる求人企業と連絡調整しマッチングを実施	実施
	就職ノウハウセミナーの実施	36回	厳しい現状を十分周知するとともに求職者に求人市場の現状確認をさせ、今後の就職活動の進め方などを指導	49回
	能力開発コースの実施	24回	就職にあたっての必須要件とされているパソコン操作技術に乏しい求職者に対して技術を付与	20回
	土曜就活セミナーの実施	40回	平日に時間の取れない方を主な対象に、毎回仕事に関するテーマを設定して必要な知識を付与	35回
	ターゲットを絞ったサービス提供			
	若年者就職力アップ事業	20人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	8人
	若年者早期就職支援事業	45人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連携したメニューを提供	18人
	定年等退職者に対する支援	3回	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施	3回
	新卒支援事業			
	面接対策セミナー	5回	就職面接会の上手な活用方法(企業の回り方)と模擬面接をセットにしたセミナーを実施	3回
	合同企業説明会	5回	新卒採用活動中の企業を集めた合同企業説明会を実施	6回
	中小企業見学会	15回	新卒者等の中小企業の理解を促進するため、合同企業説明会に参加した企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	10回
	大学等就職支援者向けセミナー	2回	東京しごとセンター多摩の就職支援に関するノウハウを活用し、大学のキャリアセンター職員等を対象に、新卒者等の就職支援に関するセミナーを実施	2回
	保護者向けセミナー	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、若年者の就職の現状や中小企業の理解を高めるセミナーを実施	1回
	保護者向け中小企業見学会	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者が、中小企業の現状を理解できるよう、大学等と連携して中小企業の現場を体験できる見学会を実施	1回
	多摩地域若者・中小企業交流支援事業			
	講師派遣	125回	中小企業交流会に先立ち、効果的の事業実施に向け、中小企業の魅力や適職探しのポイントなどについて学生に理解の場を提供	81回
	企業研究・業界研究セミナー	300人	専門家による当日参加予定の企業・業界研究を中心としたセミナーの実施	190人
	人事担当者向けセミナー	40社	企業人事担当者向け、自社の魅力の伝え方、人材確保の採用戦略等に関するセミナーの実施	36社
	オリエンテーション	300人	参加者同士のコミュニケーションを図り、交流会での企業に対する質問等を考えるワークの実施	179人
	若者・企業交流会	10回	多摩地域の学生を対象に、企業経営者等との交流会を実施	9回
	企業見学会・職場体験の実施	10回	参加者の希望業界及び職種に対する更なる理解促進を目的として、交流会参加企業への企業見学会・職場体験の実施	37回
	地域連携事業			
	就業支援事例検討会	2回	市町村の就業支援担当者向けに、就業支援における課題を検討する事例検討会を開催	1回
	企業向けセミナー	1回	多摩地域の企業に対して、中小企業団体等と連携して、企業の好事例の紹介、早期退職者を生み出さないような企業の雇用環境作り等を内容としたセミナーを実施	1回
	企業説明会	1回	多摩地域の中小企業に対し、自ら企業PR等を行う場を設け、求職者を多摩地域の中小企業へ誘導するような企業説明会を実施	1回
	合同就職面接会	大規模面接会 4回 地域就職面接会 15回	中小企業団体等と連携して、求職者を対象とし、多摩地域の中小企業等へ人材供給するための合同就職面接会を実施	大規模面接会4回 地域就職面接会11回
	地域セミナー	20回	面接直前・事前対策として、求職者向けセミナーを実施	13回
	女性向けサービス			
	女性再就職支援窓口等の運営			

	多摩 brunch の設置		多摩地域に、女性に対する専門の相談支援機関を設置し個別カウンセリング及びセミナーを実施するとともに、託児スペース付きで設置	実施
	キャリアカウンセリング	2ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	2ポスト
	ミニセミナー	30回	利用者の抱えている課題別・活動段階別の支援として、一方的な知識やノウハウの付与だけでなく、グループワークを通して、自らの気づきを促す	30回
	啓発セミナー	1回	再就職に関心のある女性を対象に啓発セミナーを実施し、女性の再就職の促進を図る	1回
	子育て女性向け再就職支援イベント	50人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	15人
	女性再就職支援事業			
	女性再就職サポートプログラム【拠点型】	女性再就職サポートプログラム（拠点型）4回 フォローアップセミナー 2回	女性が再就職しやすい職種をコーステーマとして、基礎知識や業界事情、能力開発、企業人事担当者との意見交換の場の設置等を組み合わせた総合的な支援プログラムを実施 受講修了者への確実なフォロー体制も構築	（拠点型）4回 フォローアップセミナー 4回
	女性再就職支援サポートプログラム（地域型）	女性再就職サポートプログラム（地域型）3回 職場体験事業 3回	既存サポートプログラムより期間を短く、また自宅近くで総合的な支援プログラムを開催し、これから就職したいが育児等で家庭や地域から出にくい層に対する支援を実施	（地域型）2回 職場体験事業 2回
	女性しごと応援出張テラス	セミナー10回 個別就業相談会10回	再就職にあたっての心構え、はじめの一步を踏み出すためのノウハウ等を学ぶセミナーを再就職に関する情報提供の一つとして実施 セミナー終了後、さらに個別就業相談会を開催	セミナー9回 個別就業相談会9回
	子育て女性向けセミナー	3回	育児中の女性を対象として、再就職にあたっての心構えのほか、家事と育児の両立や保育施設等の確保と就活の両立に関する情報を提供するセミナーを実施	3回
	託児室の運営等		託児室の運営を委託	実施
しごとセンターの管理運営				
	提供施設等の使用の承認		提供施設（講堂、セミナー室）及び附帯設備の使用承認・貸出	実施
	「しごとセンター業務システム」の運営	一式	「しごとセンター業務システム」の管理運営	一式
しごとセンターの建物維持管理			しごとセンターの建物維持管理	実施

施設の管理運営に関する収支の状況

令和2年度 収支状況

指定管理者名 : 公益財団法人東京しごと財団
施設名 : 東京都しごとセンター

(単位:円)

項目		実績額	備考
収入	指定管理料	3,210,384,695	
	計	3,210,384,695	
支出	管理運営費	3,210,384,695	
	計	3,210,384,695	
収支差額		0	